

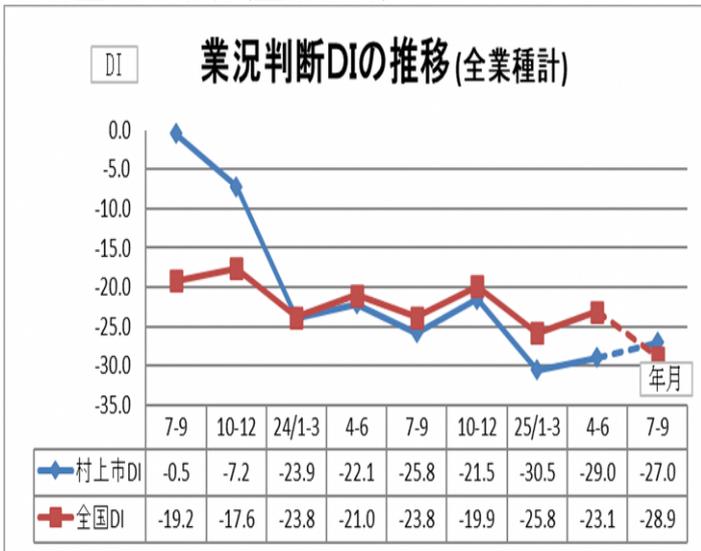


村上市 景況調査報告

〈令和7年4-6月期の実績・令和7年7-9月期の見通し〉

『続く物価高騰や人手不足の影響大きく、持ち直しの動きに足踏みがみられる』

■村上市の業況(全業種計)

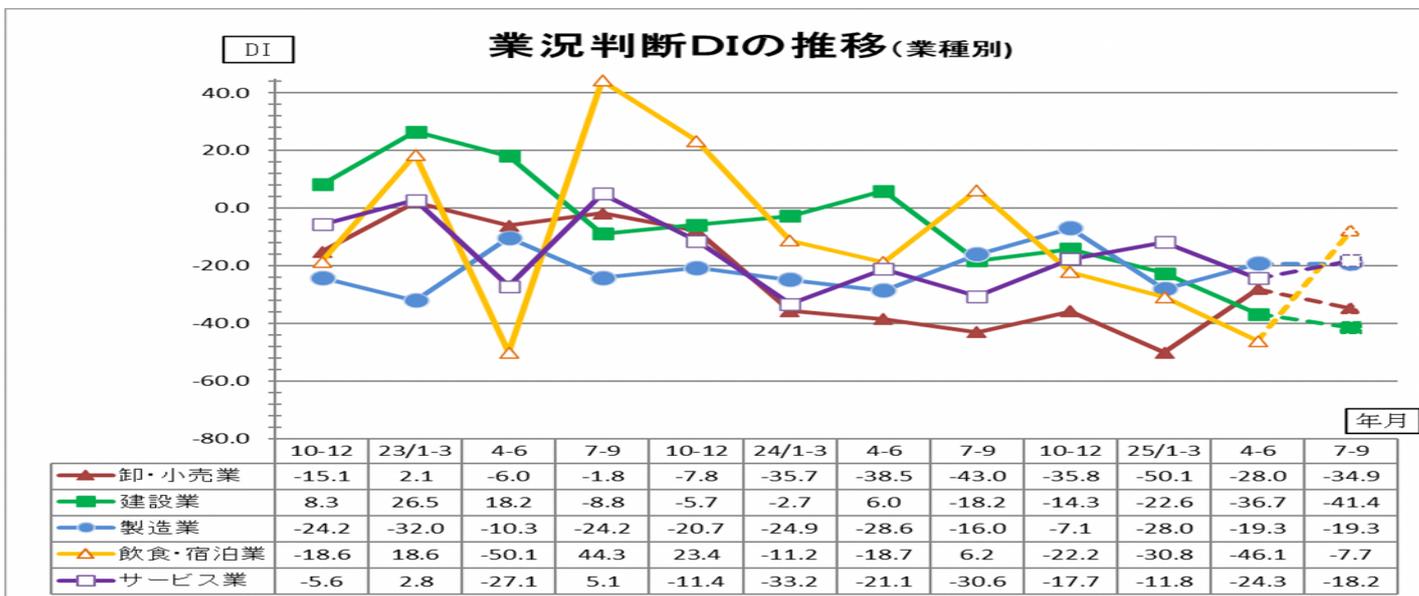


今期(4-6月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(1-3月期)と比べ1.5ポイント上昇し▲29.0となった。前期における今期予測(▲16.9)より12.1ポイント低下し、前年同月比では6.9ポイント低下した。全国DIは2.7ポイント上昇し▲23.1となった。

来期(7-9月期)については、2.0ポイント上昇し▲27.0となる見通し。全国DIは5.8ポイント低下し▲28.9となる見通し。

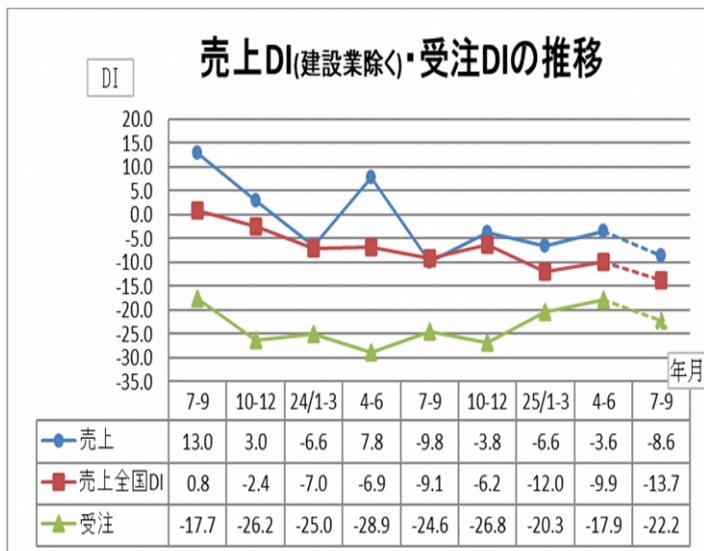
業種別のDI値は卸小売業・製造業が上昇しており、全業種でのDI値も上昇している。引き続きの物価高騰や人手不足が深刻な問題となっている。特に人手不足の問題では売上に直結するというコメントも多く、各企業のコメントから人材確保への苦労が伺える。

見通しとしては、DI値は上昇を示しているが、物価高騰(特に米・卵・資材)や気温の上昇による顧客の外出控えが懸念されている。



■業種別の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
<p>【実績】</p> <p>◆(米穀)仕入価格上昇で利益圧迫。◆(酒類)安価商品への購買移行傾向。◆(鮮魚)漁獲量減少で売上低迷。◆(食品販売)仕入の度に値上げされる。◆(観光土産品)GWの天候悪く売上減。</p> <p>【見通し】</p> <p>引き続き物価高騰と賞与支払いで人件費増加も懸念。消費税減税があれば購買意欲が上がるかもしれないとのコメントもある。</p>	<p>【実績】</p> <p>◆(土木建築)災害(R4水害)復旧工事がほぼ終わり先行きが不透明。◆(一般住宅)リフォーム・新築共に減少傾向。◆(板金)昨年より受注は増えたが原価高騰で利益減少。</p> <p>【見通し】</p> <p>どの業種でも受注減というコメントが多く、諸物価高騰により利益減少が引き続き懸念されている。</p>	<p>【実績】</p> <p>◆(工芸品製造)5月の雇事で売上増加(店舗では売上減)。◆(食品加工)鶏卵価格1.6倍で利益圧迫。◆(住宅資材)着工件数減少で利益減。◆(電子機器製造)新規取引先を開拓した。◆(半導体)引き続き増産傾向。</p> <p>【見通し】</p> <p>◆(航空機関連・半導体)引き続き受注は確保されており好調。</p>	<p>【実績】</p> <p>◆(飲食)物価高騰で消費者の節約志向が強まり客数の減少。◆(宿泊)昨年は北陸応援割があったが前年比だと大幅に売上減少。</p> <p>【見通し】</p> <p>◆(飲食)同級会が少ない。買い控えと併せ気温の上昇により外出控えや更なる物価上昇が懸念。</p> <p>◆(宿泊)トップシーズンであり予約も好調。</p>	<p>【実績】</p> <p>◆(システム開発)経費は増加しているが価格に転嫁できない。◆(介護福祉)人件費増で利益減少。</p> <p>【見通し】</p> <p>◆(解体業)これ以上の経費削減はできない上に人員不足により売上が見込めない。◆(観光バス)人手不足で受注できない。</p>



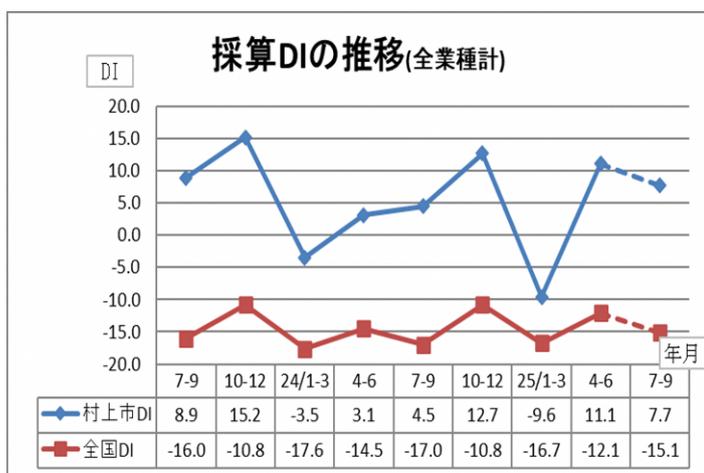
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、3.0%上昇し▲3.6となった。前期における今期予測(▲2.4)より1.2%低下し、前年同月比では11.4%低下した。全国DIは2.1%上昇し▲9.9となった。

来期については、5.0%低下し▲8.6となる見通し。全国DIは3.8%低下し▲13.7となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、2.4%上昇し▲17.9となった。前期における今期予測(▲14.8)より3.1%低下し、前年同月比では11.0%上昇した。

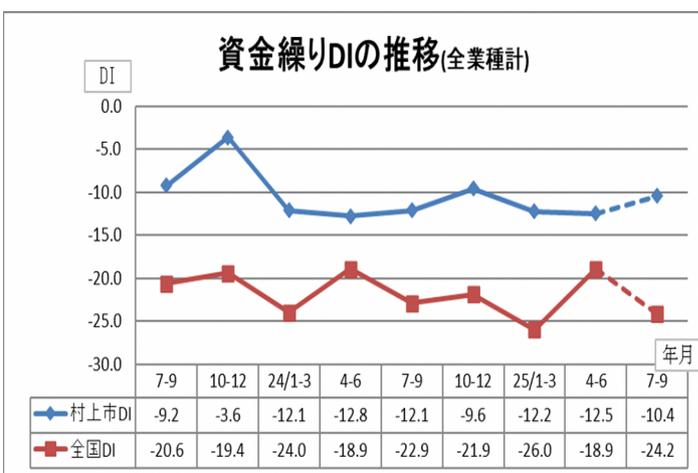
来期については、4.3%低下し▲22.2となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	-29.0	-40.1	-40.0
・製造業	-8.7	7.6	0.1



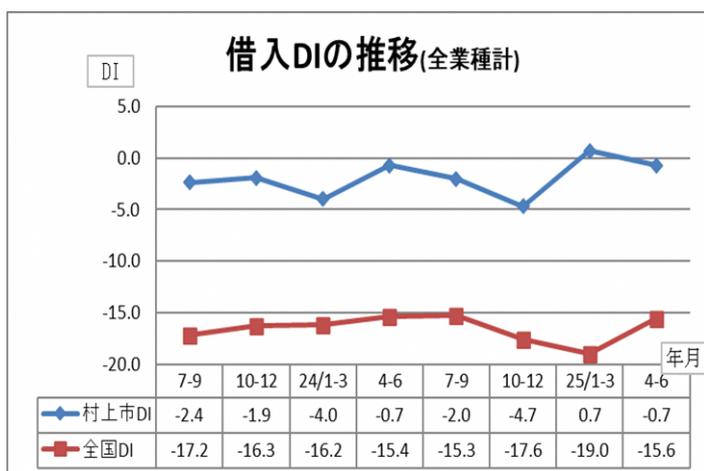
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、20.7%上昇し11.1となった。前期における今期予測(1.4)より9.7%上昇し、前年同月比では8.0%上昇した。全国DIは4.6%上昇し▲12.1となった。

来期については、3.4%低下し7.7となる見通し。全国DIは3.0%低下し▲15.1となる見通し。



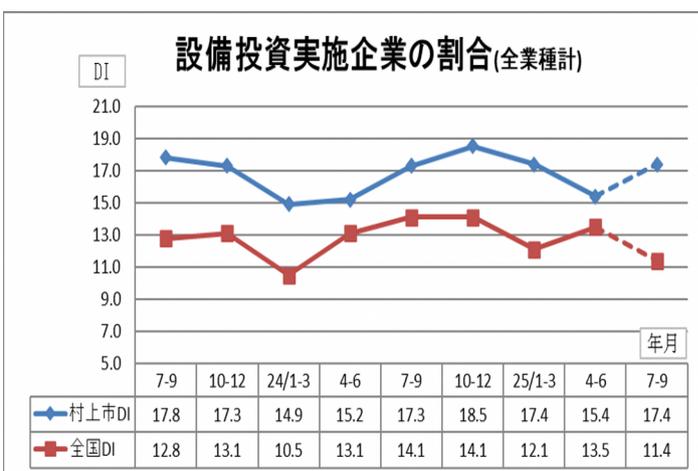
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、0.3%低下し▲12.5となった。前期における今期予測(▲14.3)より1.8%上昇し、前年同月比では0.3%上昇した。全国DIは7.1%上昇し▲18.9となった。

来期については、2.1%上昇し▲10.4となる見通し。全国DIは5.3%低下し▲24.2となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、1.4%低下し▲0.7となった。全国DIは3.4%上昇し▲15.6となった。

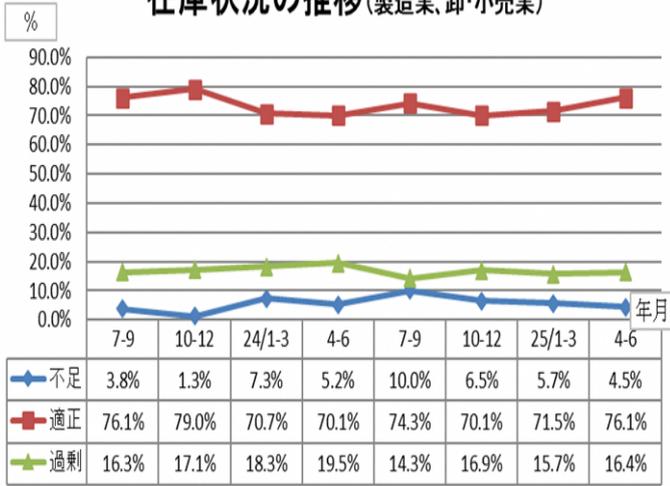
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	3.4%	2.0%
・変わらない	38.9%	36.1%
・難しくなった	2.7%	2.7%



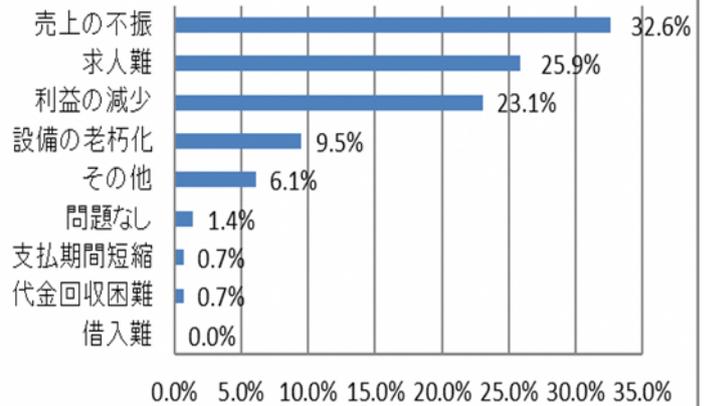
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、2.0%低下し15.4となった。前期における今期予測(11.6)より3.8%上昇し、前年同月比では0.2%上昇した。全国DIは1.4%上昇し13.5となった。

来期については、2.0%上昇し17.4となる見通し。全国DIは2.1%低下し11.4となる見通し。

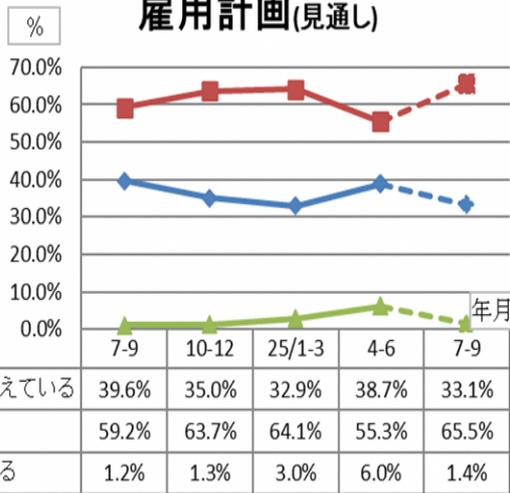
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



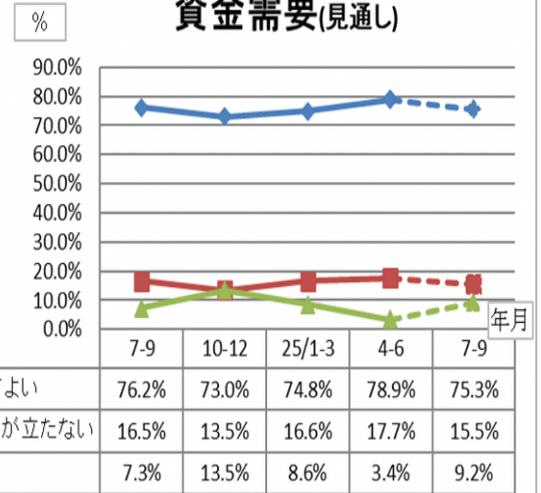
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



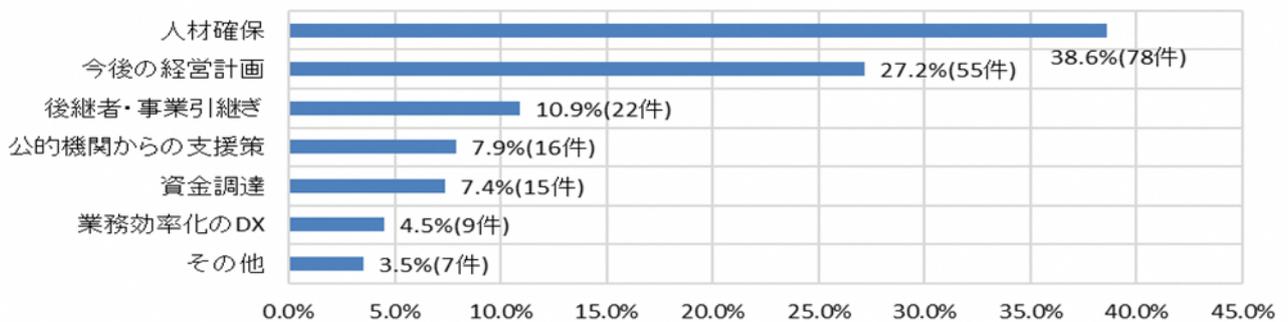
資金需要(見通し)



■感じている課題について

経営上で気になることや課題に感じていることを次の中から教えてください。(複数選択可)

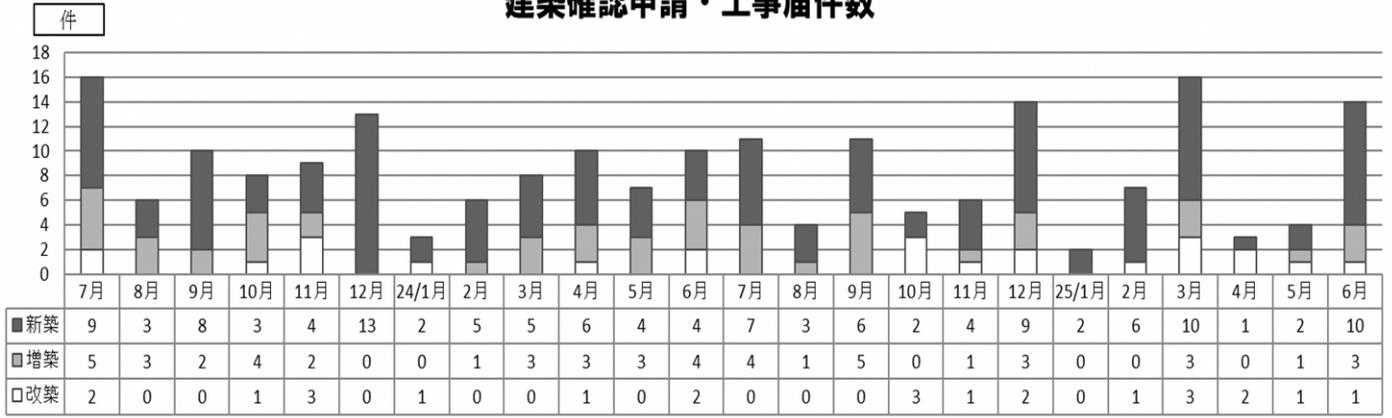
感じている課題について



<その他の主なコメント>

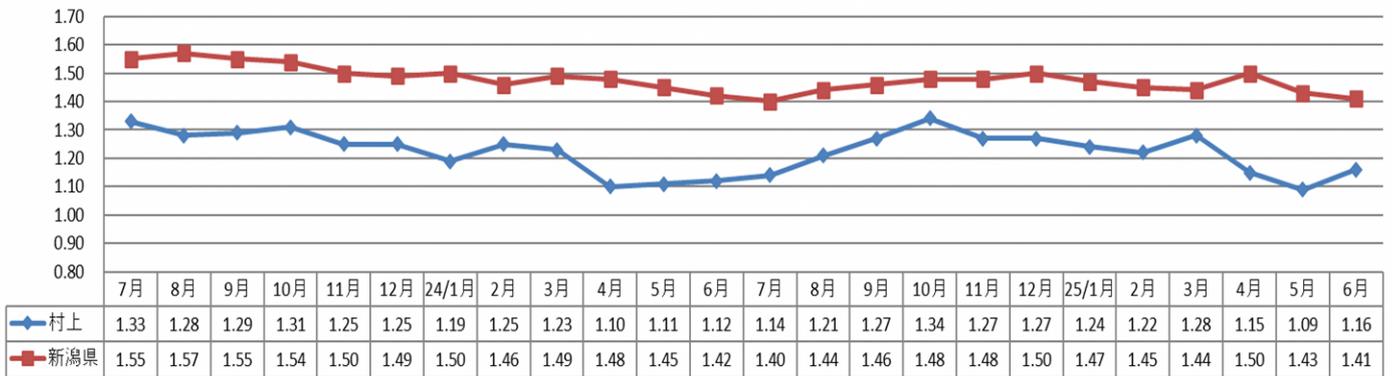
- ・人件費の増加が年々大きく、増えた分が価格に反映できない。
- ・社会状況や政治の方向性により環境がどのように変化してそれによりどのような対応が必要かということ。
- ・顧客減少対応。
- ・適正価格での受注。
- ・使用原料の冷凍冷蔵品を扱う配送業者の不足。山北地区への配送ルートを持つ業者がなかなかいない。
- ・平均年齢が上がり、作業方法改善が必須要件。
- ・体や健康に気を付けて、できる範囲で続けていきたい。

建築確認申請・工事届件数



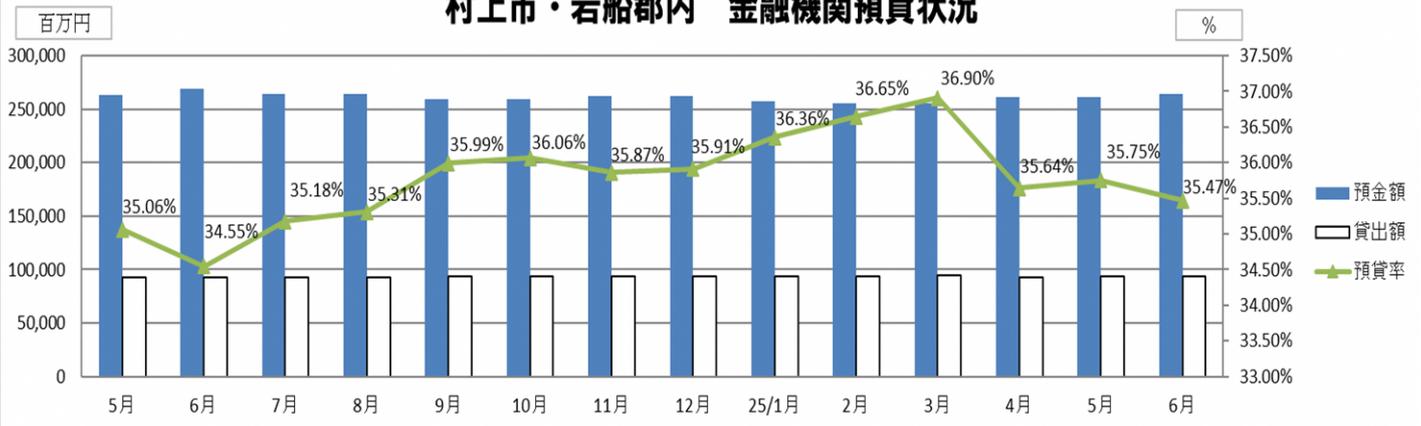
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2025年6月中旬～2025年7月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:149社(回収率74.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) <2025.4-6実績・2025.7-9見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)